

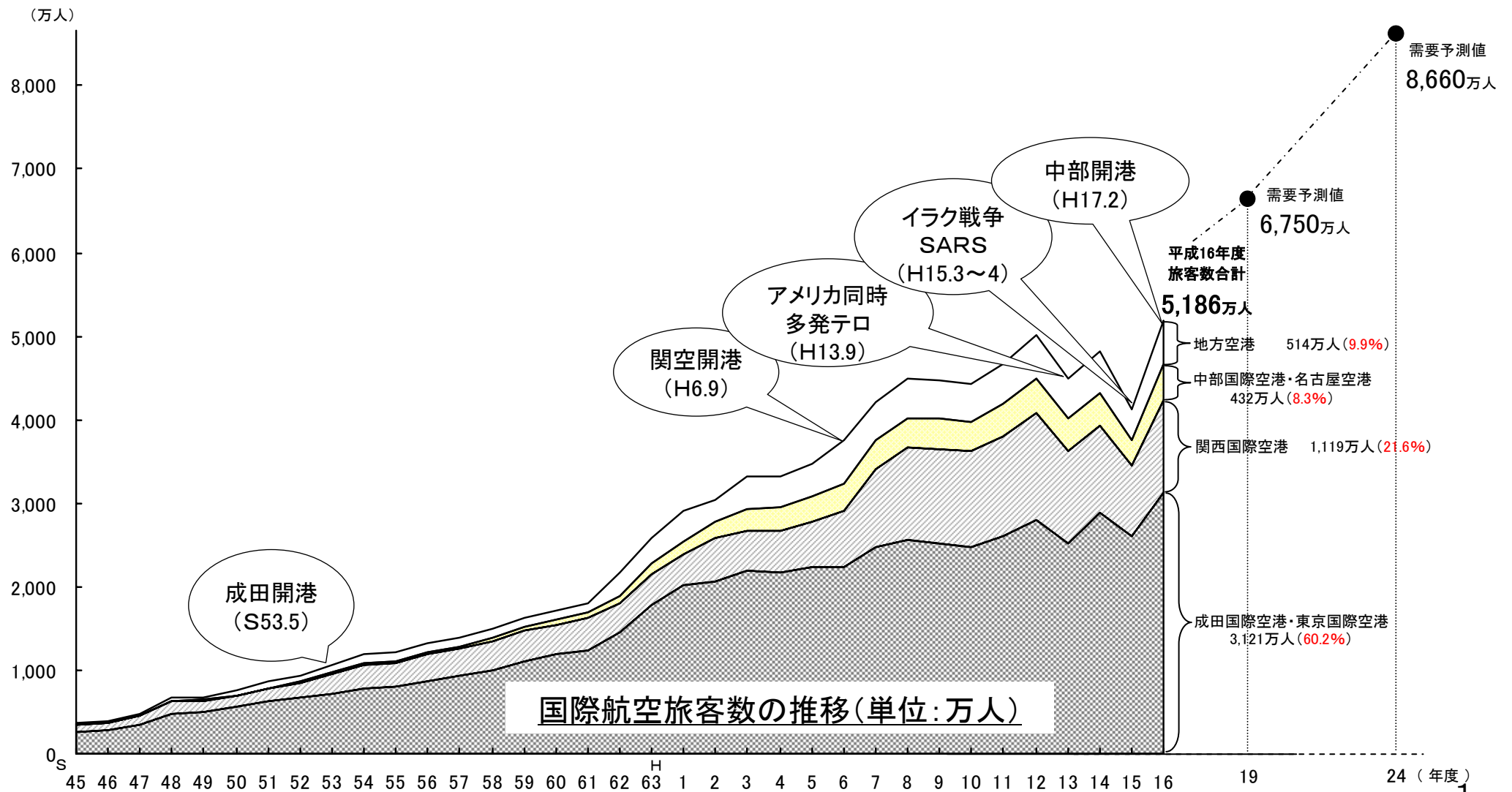
参考資料

平成 1 8 年 3 月

国土交通省航空局

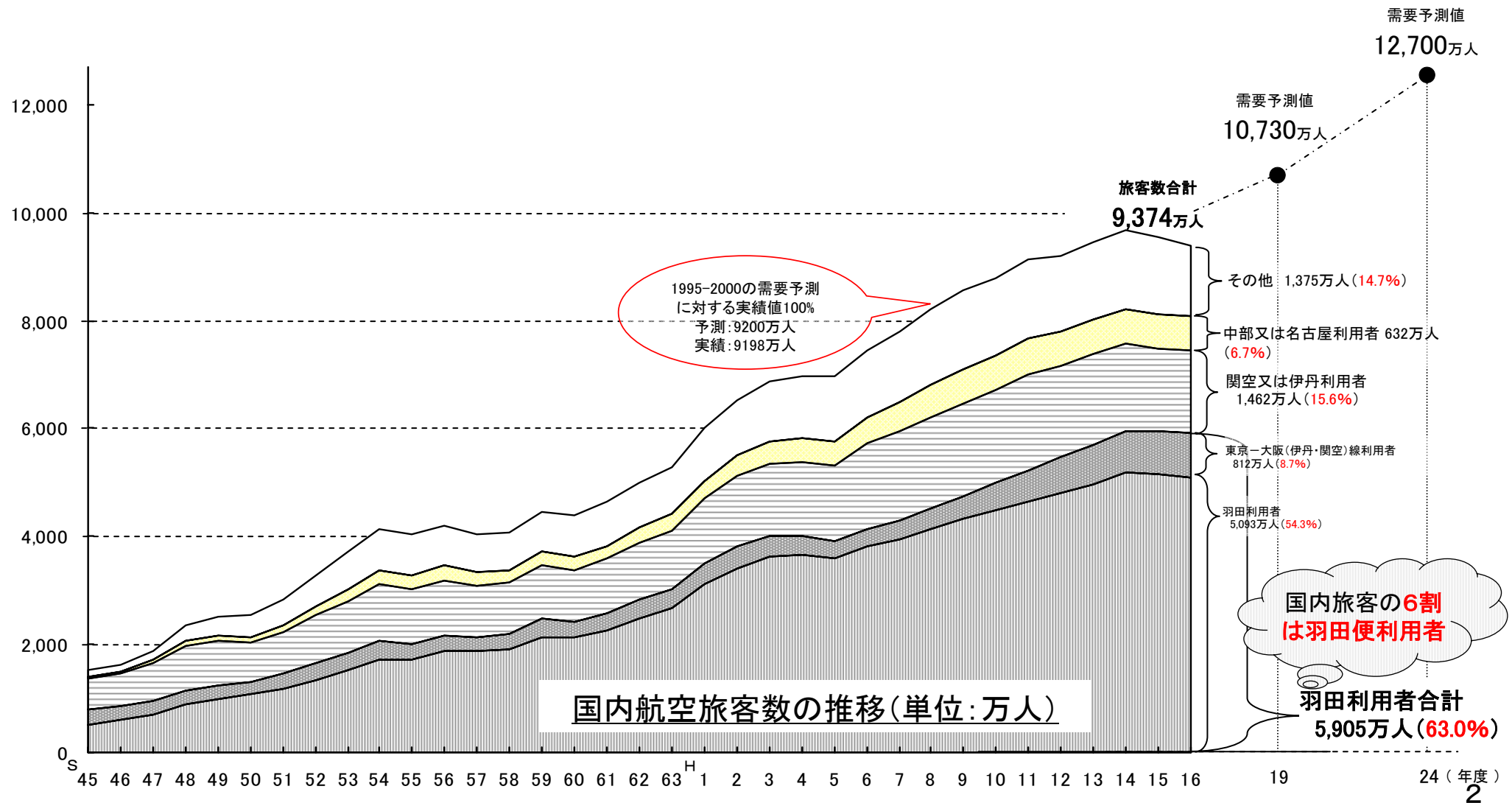
我が国の国際航空旅客輸送の動向

アジアの経済発展・国際観光交流の増大とともに、今後も国際航空旅客需要は増加の見込み



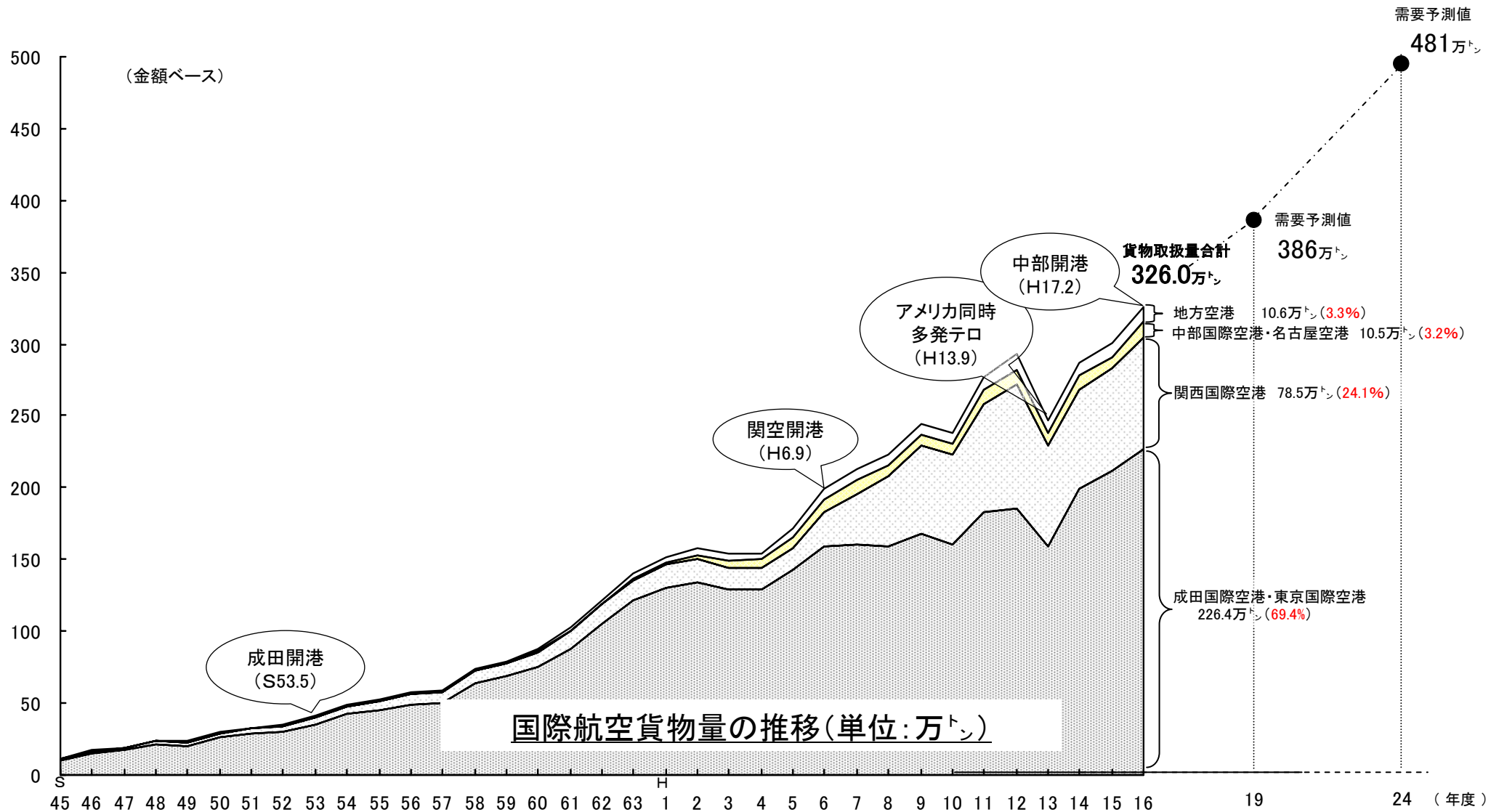
国内航空旅客輸送の動向

速く、快適に移動できる航空輸送の特性と航空サービスの低廉化により、国内航空旅客は、順調に増加。近年踊り場傾向が見られるものの、今後も堅調に増加する見込み。



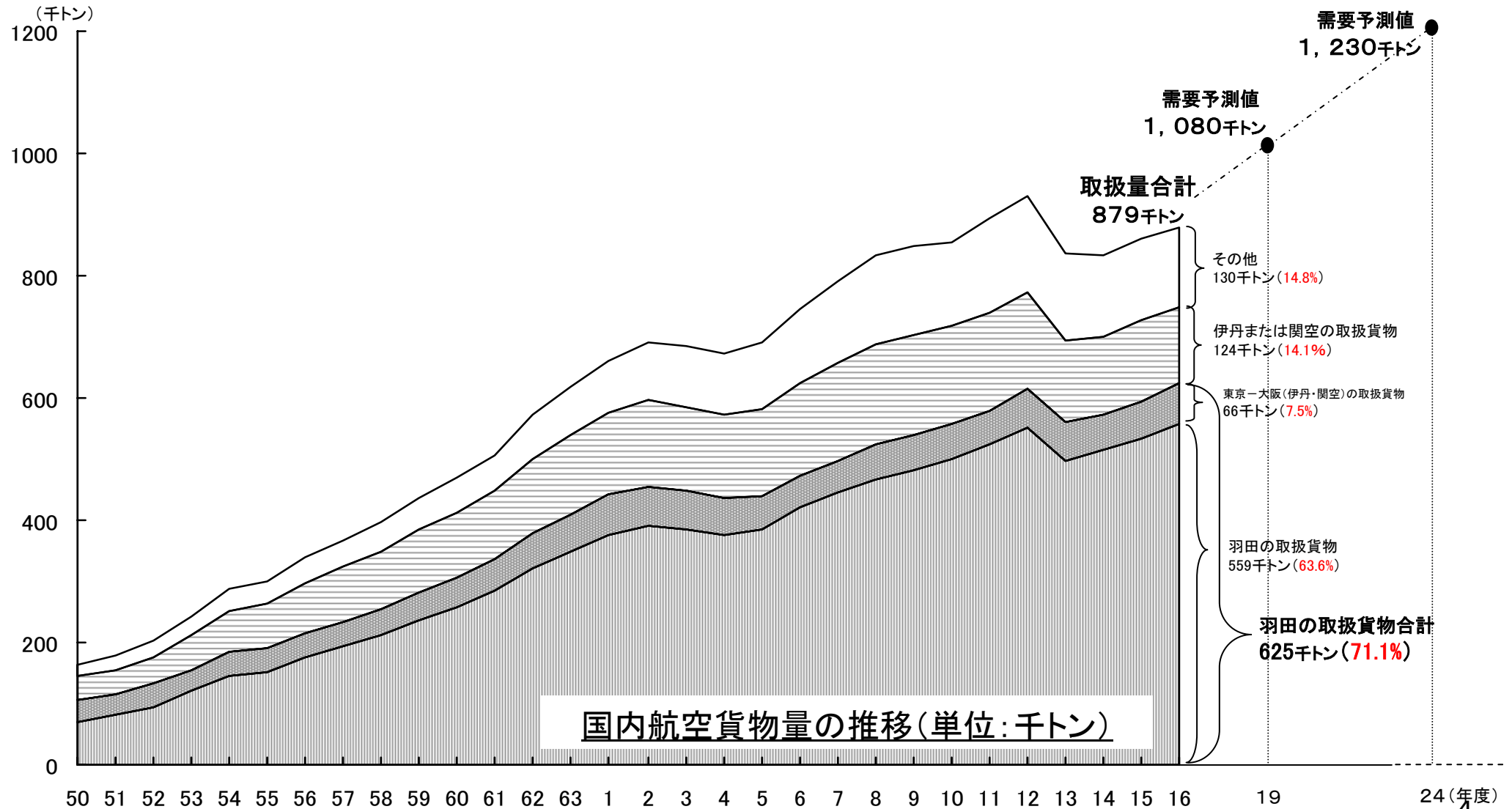
我が国の国際航空貨物輸送の動向

経済のグローバル化に伴い、高付加価値製品を中心に、
我が国経済を支える国際航空貨物は増加の見込み



国内航空貨物輸送の動向

国内貨物輸送に占める航空の割合は、約0.02%と極めて少ないが、国内貨物総輸送量が減少傾向にあるなか、航空貨物輸送量は増加傾向にある。



今後の空港整備に関する計画

～社会資本整備重点計画(平成15年10月10日閣議決定)～

第3章 事業分野別の取組み

<空港整備事業>

1 重点的、効果的かつ効率的な実施に向けた取組み

(1) 空港の整備

今後とも増大する航空需要に対応し、我が国の国際競争力を強化していくためのライフラインとして、大都市圏拠点空港の整備を重点的に実施する。

一般空港については離島を除き新設を抑制するとともに、従来の量的拡大から、ハード・ソフトの組合せや既存空港の十分な活用を中心とする質的充実に重点を移す。

2 事業の概要

(1) 大都市圏拠点空港(成田、羽田、関空、中部)の整備

首都圏においては、新東京国際空港の平行滑走路等の早期整備を図るとともに、財源に見通しをつけた上で、東京国際空港の再拡張事業を推進する。関西圏においては、関西国際空港二期事業等の整備を着実に推進するとともに、関西3空港について、それぞれの特性に応じた機能分担や連携のあり方に関し、さらに検討を進める。中部圏においては、中部国際空港の所要の整備を着実に推進する。

(2) 一般空港の整備

継続事業を中心とし、ターミナル諸施設の利便性の向上、航空機の就航率改善等既存空港の質的向上のための整備を推進する。